

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスきらめき古堅南		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 3日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型事業所なので、平日午前中は児童発達支援児童、午後は放課後デイの児童が利用されており、祝日長期休みは朝から両方の児童が来所されています。合同時間は混雑していますが、普段接することの無い異年齢との交流になり、双方に良い刺激があると考えています。同伴される児童の保護者様にも放デイの雰囲気を知ってもらおう機会になっています。	・小さい児童に対する対応の仕方やお世話が芽生え、相手の気持ちに合わせる経験に繋がっています。 ・保護者さまが放デイ移行時期に向けてイメージしやすいよう相談にもお応えできるようにしています。	放課後デイ・児童発達支援の合同保護者会を今年度一回開催することができました。とても好評で、今後も定期的に合同保護者会を開催するニーズがあることが分かりました。
2	外部講師による「音楽プログラム」「陶芸プログラム」を各週一回ずつ取り組んでいます。	・感覚刺激遊びを通して、想像力、創造性、思考力、集中力、協調性などを養う効果を期待しています。 ・楽器や道具の準備、片付け、使い方を指導する上で力加減のトレーニングになります。	外部講師によるプログラムを受けることによって成長が見られる様子を、保護者様に是非見ていただける機会を増やしていきたいと計画しています。(参観日、展示会など)
3	就労に向けたプログラムや社会自立に向けた取り組みを実施しています。	・「一定の時間座る」ことから始まり、「ルール理解」「準備・片付け」「流れ作業」など、将来子供たちが働くことにつながるように、動作面や認知面のトレーニング活動を提案しています。 ・通学や通勤に繋げる「登下校支援」「バス乗車体験」「買い物学習」「避難訓練」に取り組んでいます。	・社内の就労事業所との交流を深め、成人部門の方々のお仕事を一緒に体験させていただく機会を増やしていきたいです。 ・高学年の児童を対象にした自立支援を計画しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	発語のトレーニングを必要とされている利用者に対して、ことば音楽療法の実施が固定化できておらず、不定期で指導させていただいています。	人員不足のため、個別訓練を行う余裕がない状況です。	人員不足を改善し、余裕を持った人員配置を行うことで個別指導時間が確保できると考えています。
2	高学年になると下校時間が遅くなり、実質事業所に滞在する時間が短いです。限られた時間の中で充実した取り組みを行う必要があります。	・低学年と高学年で活動内容をわけたり、下校時間の変更等を事前に把握し、滞在時間にあう活動内容になるよう工夫をしています。 ・進学予定の中学校から自宅までの登下校自立支援を個別で行っています。	土曜日を月一回開所して、高学年向けの自立支援を行う日として開所を検討しています。
3	事業所に園庭が無いので、野外での活動が頻繁にはできていません。	・天気や時間に左右されますが、近くの公園や同じ社内の園庭がある事業所を借りて、安全に野外活動ができるように工夫をしています。 ・事業所内に設置している感覚統合遊具を用いて、室内でも十分に楽しみながら体を動かす事ができる環境を作っています。	・運動活動プログラムを充実させ、体づくりから体力作りへ、体幹を鍛えることで動作の安定や微細運動のトレーニングへつなげていきたいです。